

道央圏を、育み、守り続ける治水事業

石狩川流域の治水対策事業

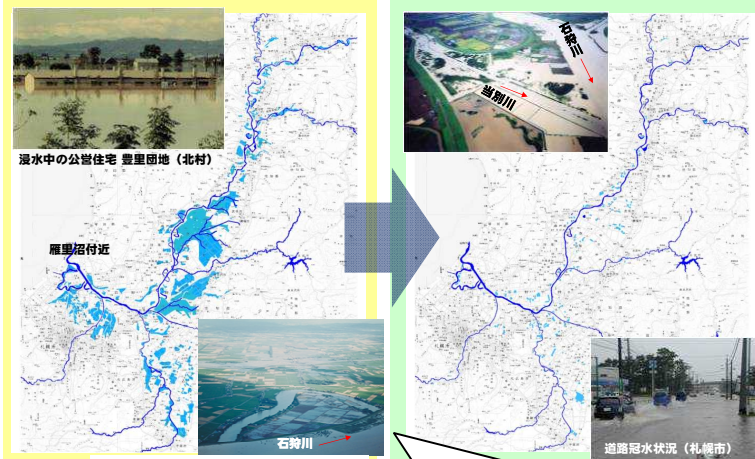
● before >>> ● after

■ 100年間にわたる長期的な治水事業により、石狩川の低平地に広がる湿原は、日本有数の穀倉地帯へと大きく変貌し、札幌市を始めとする市街地が形成

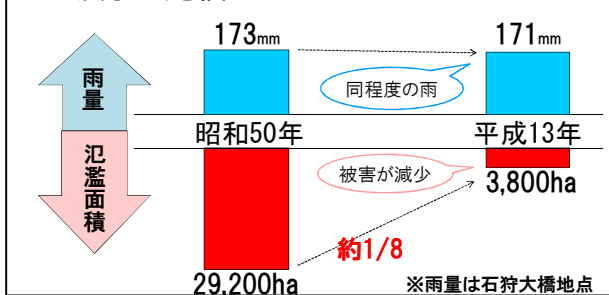
洪水被害の低減

昭和50年8月

平成13年9月



<洪水の比較>



砂川遊水地



夕張シューパロダム



石狩川流域の市街地の拡大

明治30年頃

低平地における耕地面積
15,500ha
低平地における市街地面積
400ha



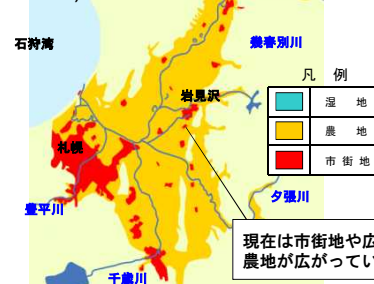
昭和30年頃

低平地における耕地面積
107,900ha
低平地における市街地面積
2,800ha



現在

低平地における耕地面積
111,100ha
低平地における市街地面積
17,100ha



■ 治水と合わせ、篠津泥炭地開発等の農地開発、市街地整備等により、流域の土地利用は大きく変化

■ 明治30年頃と比較すると人口及び耕地面積は約7倍、市街地面積は約43倍に拡大。

現在は市街地や広大な農地が広がっている

堤防整備



石狩放水路



ストック効果